

第2回戦略会議レポート

2018/5/29 湯沢町役場



本気井(マジドン)・ミールクーポンなど食に関する話し合いが白熱した今回の戦略会議。

清水先生より 国と観光庁の動きについて

来年1月から日本を出入国する人に1000円頂く。資金400億円を使い観光振興を行う。補助金交付要綱の原案ができ決定すると観光圏事業が本格的に始まる。インバウンドが今年3000万人、2020年には4000万人という目標だが確実に達成するといわれている。

■インバウンドは地域に刺激を与えている。奥会津では只見線第一橋梁の雪景色、新緑、紅葉等台湾を中心に口コミで伸びている。福島県と奥会津は台湾とタイにセールスに行く。津南や栄村、魚沼も外国人が増えると予想されるので受入態勢をしっかりと。

■インバウンドが観光公害を引き起こすか。京都では金閣寺や清水寺に行く路線バスが長打の列で住民が乗れない事態に。ニセコ・倶知安は外国人の投資が多く、地価上昇率で全国1位になり上下水・ごみ処理など回らなくなり一切の投資を断ると宣言。インバウンドのいい面・悪い面が見えてきたが、行政だけでなく民間だけでなく集まって議論するのが大事。

雪国観光圏の理念

『100年後も雪国であるために』

ひとつずつでは埋もれてしまう地域資源を発掘し、つなぎ合わせ、磨き上げることで世界に通用する価値を生み出す。

雪国観光圏のブランドコンセプト

『真白き世界に隠された知恵に出会う』

各WGから 進捗報告

■スノーカントリーレイルWG 事務局奥田

・道標設置は6月頃、9月8日のオープニングイベントはみなかみサイドで検討。今後の事務局もみなかみに置くのか否か、結論は今後に持ち越し。

■ブランド推進WG 座長フジノ氏

・SCF改め、“雪と旅”編集会議に各観光協会よりスタッフが集まり、夏号の検討が行われた。1冊発行につき3回のWGを重ねていく。スタッフの編集スキル向上目的もある。

■観光協会連携WG 星事務局長

・覚書を交わすための手順や必要なことの確認。
・販売手数料は0~10%。地域にお金が回るように。
・各観光協会での情報共有や集客事例発表などを行う。

■食ブランドWG 井口代表理事

・次回食の学校は120人の募集で、すでに150人の申込。貴重な食の最前線の話とA級グルメの取組発表。



Unuma Kitchen

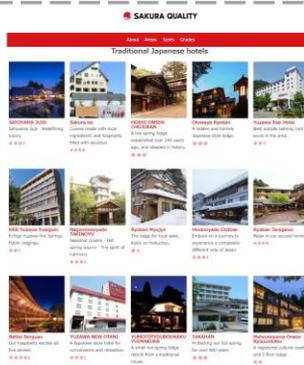


議題②事業計画に基づく進捗状況

- サクラクオリティ 品質認証制度 H30年度より調査内容・調査票が変更し新たな制度に。6月に各市町村や観光協会に案内したい。
- スーパー民宿支援事業 湯沢で2軒の参画あり
- 雪国A級グルメ 南魚沼1軒検討・松之山2軒加入見込

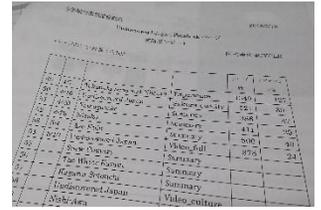


地域や観光協会へ説明会にお伺いします！サクラクオリティ・A級グルメとも地域で関心のある飲食店や旅館とつないで頂けますよう、戦略会議参加メンバーの皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。



全国観光圏推進協議会

- 来訪者満足度調査(夏・冬)を今年も開催。別途2万円で宿の詳細調査も可能、会員に周知をお願いします。
- 4P 全国観光圏シンポジウムとUDJ、JTAなどについては詳細決まりましたら随時報告。
- 5P UDJFacebookいいね！数。6P データ等 7P 大正大学日本版DMO特別セミナー。シンポジウムに関しての戦略会議での総意を確認したい。



しょくBiz! 第四銀行との連携協定締結

■しょくBiz! 旅行会社・観光関連企業との商談7割、自治体コンサル3割。アジア圏対象の旅行会社は雪国文化や団体向商品に興味あり。WEB事業者はユーザー・インフルエンサー招聘の話。自治体は小千谷・出雲崎・弥彦村。ミニセミナーとして井口代表より講演があり40人ほどの狭い席が満席になる。

■第四銀行との連携協定締結について
第四銀行が新潟県の観光誘客を支援し、地方創生の実現に貢献していきたいというなかでDMO登録法人である雪国観光圏との連携協定について進めている。連携することで観光圏が苦手とする営業力を補え、サクラクオリティやA級グルメ等で地域活性化を図ることが期待される。



本気井 南魚沼から湯沢にエリア拡大

・南魚沼市で3年前に始めた食による町おこし事業の取組のひとつで、昨年までに13万食を突破するという勢いのある食による地域活性の成功事例。南魚沼市の取組ではあるが、ブランド米である南魚沼産コシヒカリの生産地、湯沢にもエリア拡大し、さらにパワーアップする。南魚沼市の参画店舗は60(昨年+9)で、湯沢はこれから募集をかける。7月28日～11月30日迄キャンペーンを開催し、目標は1年間で6万食。テレビではフリーのパブリシティや大手旅行会社とのコラボの話もあり回遊性を高めて地域に旅行者が増えてくれればと願う。



ミルククーポン 十日町・六日町

・湯沢町では外国人の増加で冬の土曜日は夕食難民が発生。雪国観光圏で外国人を呼びたい六日町商工会にミルククーポンの提案を行う。ほくほく線にも協力依頼をし、十日町にも提案している。初年度は湯沢からアクセスのよい六日町と十日町で進めているが、その他市町村で興味あるところはお問い合わせください。

事務局: 商工会(六日町・十日町)
販売: 宿泊施設
* 雪国観光圏の役割は、販売促進。



清水先生から日本版DMOセミナー案内

アルベルゴ・ディッフォゾ(イタリアの分散型ホテル)
村の中心部にレストランを作りチェックイン・アウト・食事をし、泊りは周辺の空き家を活用し集落全体が宿泊施設となる。イタリアでは100の町村で行い、昨年視察に行ったポルティコロマーニャは住民350人だが33か国から7万人が訪れる。
ノオトやアレックスカーの古民家改修はお金がかかるが、こちらは基本的には改修はしない。財政能力資金能力がない町村がこれに取り組んできた。宿泊施設がなく苦勞して空き家だらけと悩む市町村の方にはいい解決策になるのではないかと。6月15日に大正大学でこの取組の代表者ジャンカルロ・ダッラーラの話聞くことができるので是非日本版DMO特別セミナーにご参加ください。現在、作家森まゆみさんが谷根千でこの仕組みを導入しているのでご参考まで。

*次回戦略会議は、7月31日(火)13時30分～湯沢町役場で開催です。

事務局から

■推進協事務局より:6月25日午前中にNASPAにて推進協総会・理事会開催希望、詳細は追って連絡。総会に先立ち首長レクチャーの時間をいただきたいので、日程調整をお願いします(資料2-12P)。

■信越県境地域づくり交流会
トレイルがテーマで地元開催です。ご参加ください。

■大地の芸術祭、公式ガイドブックの広告協賛
ありがとうございました。

■大正大学日本版DMOセミナーにご参加ください。
内容は左、清水先生のコメントをご参照ください。

連絡先: 一般社団法人雪国観光圏事務局
新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2431-1
TEL025-785-5353 FAX025-785-6767